

## 「七つ屋志のぶの宝石匣」

私の本棚／JGS ニュースレター11号（12月9日配信）

- コミック：168 ページ
- 出版社：講談社（2014/11/13）
- 言語：日本語
- ISBN-10：4063409406
- ISBN-13：978-4063409406
- 発売日：2014/11/13
- ￥463

東京の下町に店を構えている江戸時代から続く老舗質屋「倉田屋」。宝石のオーラを見ることができ、高校2年生の倉田志のぶは、2年前に亡くなった祖父の家に離婚した母と出戻り、質屋で宝石の鑑定を任されていた。店と部活の毎日を送り、彼氏もない志のぶには、実は亡き祖父が相談なく勝手に決めた婚約者がいた。

フランスに本店を置くジュエリー店「デュガリー」日本支店の外商を務めている北上顕定。幼い頃とある理由から祖父に預けられ、迎えが来ないまま倉田家で育てられたイケメン青年。

宝石のオーラを目で見ることができ、質屋の娘、“赤い石”を探している彼女の婚約者であるイケメン宝石外商、2人が出会う人々との宝石に纏わる人間ドラマを描いた物語。

テーマは『宝石』×『質屋』。コミック・アニメ・ドラマ・映画、様々な媒体で話題になった『のだめカンタービレ』の著者・二ノ宮知子さんによる作品。

『七つ屋』とは、質＝七（しち、なな）を掛けた隠語です。

月刊「kiss」で不定期連載中のこの作品、面白い！現在3巻まで発刊中、カバー見返しにはもちろんカラーでお話に登場した宝石リストも！なんとも充実の1巻です。

<https://www.amazon.co.jp/exec/obidos/asin/4063409406/hanemau9408-22/>

